



愛郷無限

2015年10月1日号 NO.527

写真提供:大田市

土屋館
どや
だて 通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

Subject : B-1 グランプリ十和田 行ってきます！

しばらくのご無沙汰でした。

大曲納豆汁旨めもの研究会（通称：ウメケン）は、今週末10月3～4日に青森県十和田市で開催される【B-1グランプリ十和田大会】に今年も出展してきます！

各種イベントでのPR出展や、新しく始まったコミュニティラジオ「FMひなび」での週一レギュラー番組「ウメケンののびしろラジオ（毎週火曜21時～）」の運営、大曲農業高校さんとのコラボ企画など、相も変わらず地道にコツコツと大曲PR活動・仲間づくり活動が続けておりますが、そんな日頃の活動を全国の人に見てもらおう場のB-1グランプリに、振り返れば2014年の北九州、2015年の豊川、2016年の郡山と連続出展してきました。

総勢40名、いつものウメケンメンバーだけでなく、昨年に引き続き大曲農業高校の生徒3名、先生1名の他に、今年から秋田県立大学の学生、市内認定店の方々も多数参加してくれます。昨年B-1郡山大会に一緒した大曲農業高校生で、この春エンパイヤホテルに就職した若人もウメケンメンバーとして参加。少しずつ仲間と理解と協力の輪が増えているのは本当に嬉しいことです。今晚、トラックに資材を積み込んで明朝6時にマイクロバスとトラックで十和田へ向けて出発します。

へこたれず、地道に支えてくれる仲間達と共に、大曲を正々堂々、愉しく存分にPRしてきます。参加者が参加費を自腹負担してもなお、今年も赤字覚悟ですから、もちろん銭別のお気持ちやご奉仕は大歓迎です（笑）

3～4日の間はテレビ始め様々なメディアにB-1グランプリの様子や結果が取り上げられることでしょう。全国からご当地グルメでまちづくりに取り組む、最強のおもてなし心とPR力、志溢れるメンバーを持つ70もの団体が一堂に会しますから、私達が映るか映らないかは分かりません。それでも皆さんぜひ注目してください。

十和田市まで足を伸ばせる方は、ぜひ会場まで遊びに来て下さい。各団体の来場者を飽きさせない、愉しませる様々な仕掛けの数々だけでなく、地元十和田市で一般市民や子ども達、商業者まで巻き込んだおもてなしの手法、パブリックマインドの育成方法を、観光やまちづくりに係わっている人は是非一度見ておいた方が良いでしょう。

B-1は単なる集客グルメイベントに非ず。

2017年に大曲開催が決まった世界花火シンポジウムも控えて、これまでとは比べものにならないほど、市民みなが一丸となって大曲来訪者をもてなす・愉しんでいただくための運営手法・巻き込む仕組み作らねばならないでしょう。大曲の花火運営にとっても喫近の課題です。この最先端をいく十和田市に学ぶことは非常に多いと思います。人口六万人の十和田市ですが、公民連携の姿勢と行動は素晴らしいです。パブリックマインド（公共心）とは自分や家族や会社のためではない、「公」の存続のために、考え、汗する行動。公民連携（PPP）の為には先ずは一人一人の考え方の変革と仕組み作りが重要です。